

基礎学力試験問題

①

1 受験心得

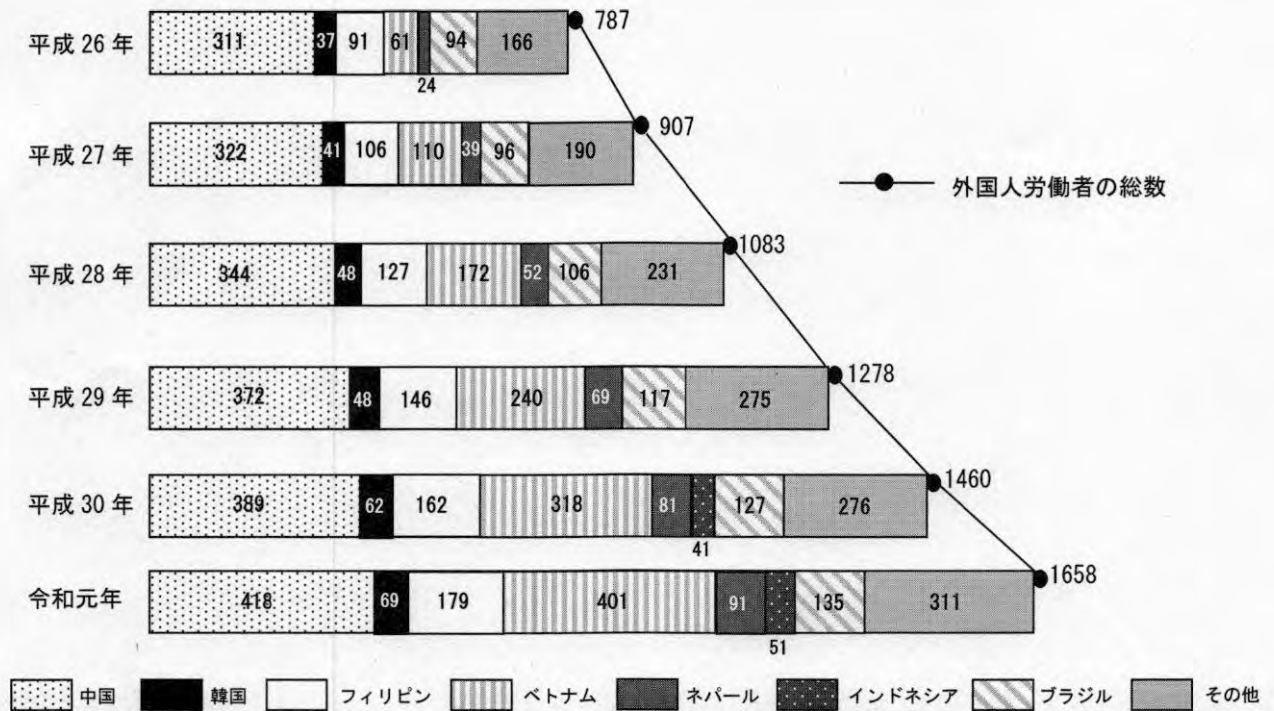
- (1) 指示があるまで開いてはいけません。
- (2) 問題の内容に関する質問にはいっさい回答しません。
- (3) 試験時間中はすべて係員の指示に従ってください。
- (4) 計算等は余白を利用してください。計算機、定規、分度器、コンパス等の使用は認めません。
- (5) 携帯電話等の電源を切り、使用できない状態にしてカバン等にしまってください。

2 注意事項

- (1) 受験番号、氏名及び整理番号を解答用紙の決められた欄に記入してください。(2枚目にも記入してください。)
- (2) 問題は、①～②までで、全部で7ページにわたって印刷してあります。
- (3) 基礎学力試験の試験時間は、80分です。
- (4) 声を出して読むはいけません。
- (5) 答えはすべて解答用紙の解答欄に記入してください。
- (6) 答えを直すときは、きれいに消してから、新しい答えを書いてください。

1 グラフ1、表2、グラフ3～5を参照し、以下の問いに答えなさい。

グラフ1 国籍別外国人労働者数（単位：千人）



出典 厚生労働省 「外国人雇用状況の届出状況」より作成

※ 各年とも10月末現在

※ なお、各国籍別の外国人労働者数は、千人未満を切り捨てているため、合計値は一致しない。

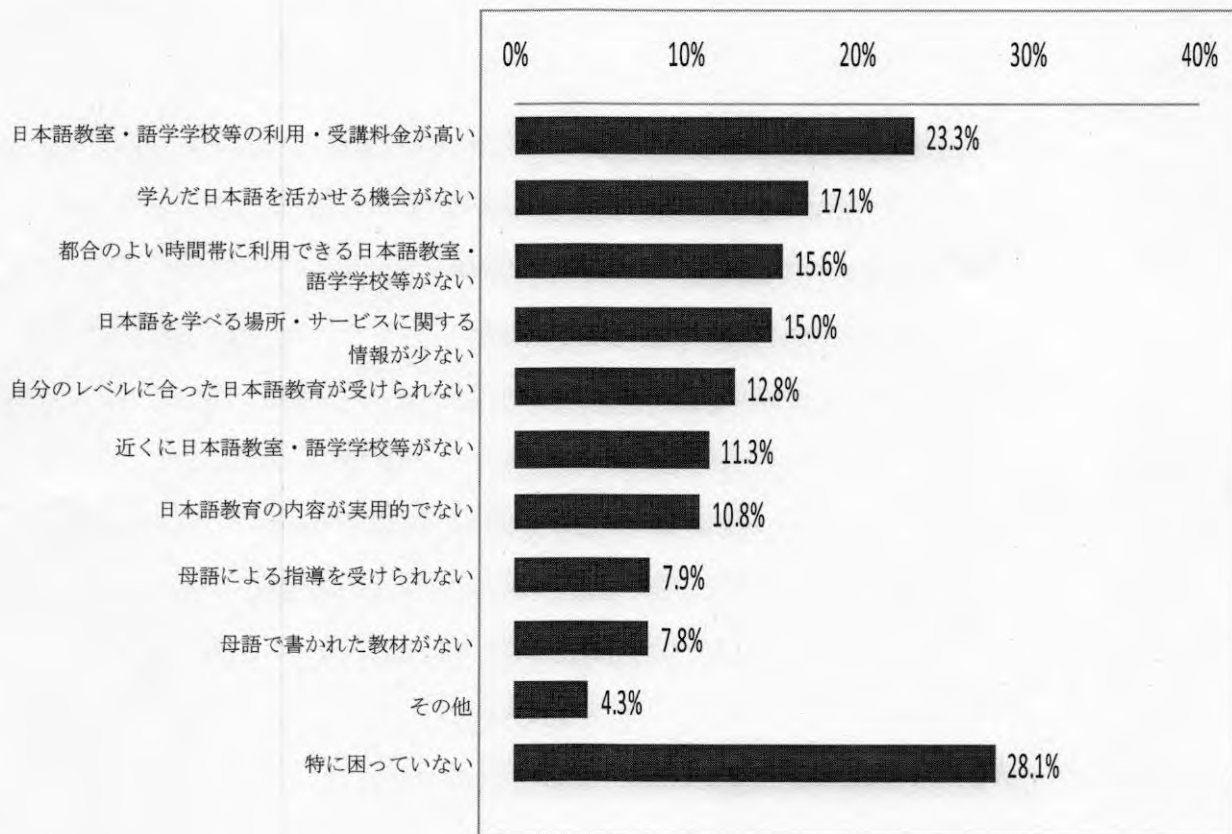
表2

下記の表は、日本で過去5年の間に仕事を探したり、働いたりしたことがある外国人2788人のうち、下記の項目について、経験をしたことがあると答えた人の「日本語でどの程度会話ができるか」の別に人数を集計したものである。

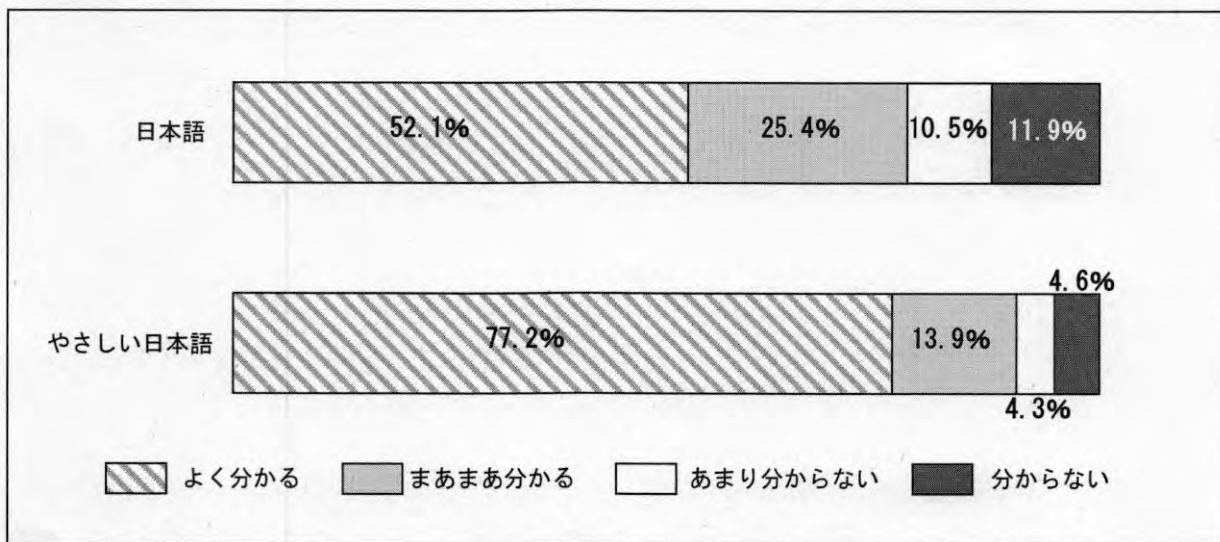
この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承ください。

出典 「外国人住民調査報告書—訂正版—」公益財団法人 人権教育啓発推進センター 平成29年6月より作成

グラフ3 日本語の学習における困りごと（複数回答）

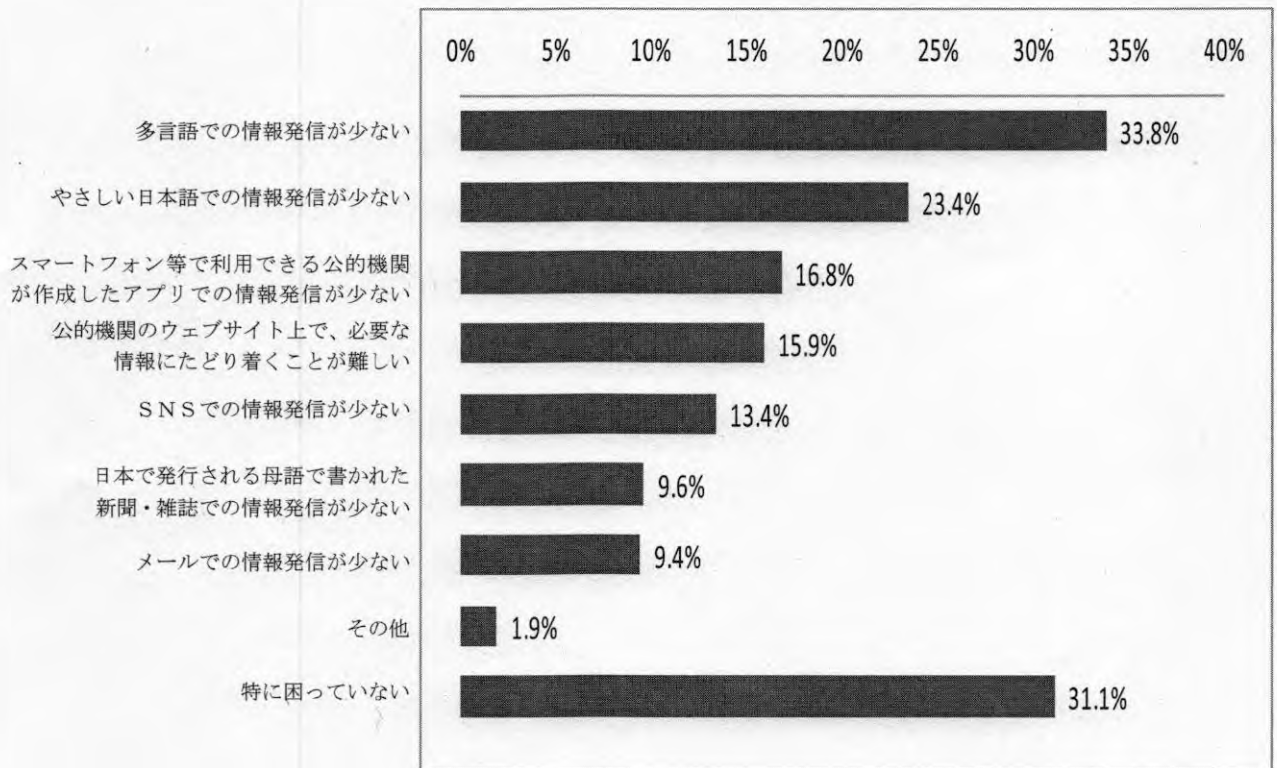


グラフ4 日本に住む在留外国人の日本語能力（読む）に関する調査結果



出典 「令和2年度 在留外国人に対する基礎調査 参考資料」 出入国在留管理庁 より作成

グラフ5 公的機関（市町村・都道府県・国）が発信する情報を入手する際の困りごと（複数回答）



出典 「令和2年度 在留外国人に対する基礎調査 参考資料」 出入国在留管理庁 より作成

問1 グラフ1は、平成26年から令和元年までの、日本で雇用されている外国人労働者数を国籍別に示したものである。グラフ1から読み取れることとして、誤っているものを以下より一つ選びなさい。

- (ア) その他を除いて、外国人労働者数のうち、平成26年から令和元年まで、中国人の労働者が占める割合が最も大きく、ベトナム人の労働者が占める割合が2位になったのは平成27年からである。
- (イ) 平成28年と令和元年を比べると、令和元年の外国人労働者数の総数は、平成28年の外国人労働者数の約1.5倍である。
- (ウ) フィリピン人の労働者が外国人労働者数の総数に占める割合は、平成28年から令和元年まで、10～12%程度で大きな変化はない。
- (エ) 平成30年と令和元年を比べると、ブラジル人の外国人労働者数の増加率がインドネシア人の外国人労働者数の増加率よりも大きい。
- (オ) 外国人労働者数のうち、中国人の労働者が占める割合は、平成26年から令和元年まで、一貫して減少してきている。

問2 表2は、過去5年の間に、外国人が、日本で仕事を探したり、働いたりしたときの経験、グラフ3は、日本語の学習における困りごとを表している。表2、グラフ3を参照し、次の文章の空欄（①）～（⑦）に当てはまる数値を記述し、空欄（1）～（3）に入る語句を選択肢から選びなさい。数値は四捨五入して小数点第一位まで答えること。

調査対象となった、日本で過去5年の間に仕事を探したり、働いたりしたことがある外国人2788人のうち、「外国人であることを理由に就職を断られた」と回答した人の割合は（①）%である。「外国人であることを理由に就職を断られた」と回答した人のうち、「日本人と同程度に会話できる」人は（②）%である。このように「日本語でどの程度会話ができるか」の別で見た場合、「同じ仕事をしているのに、賃金が日本人より低かった」と回答した人のうち、「日本人と同程度に会話できる」、「仕事、学業に差し支えない程度に会話できる」、「日常生活に困らない程度に会話できる」と回答した人の合計が占める割合は（③）%、また、「外国人であることを理由に解雇された」と回答した人のうち、同じ3項目にあてはまる人の合計が占める割合は（④）%、「上司から外国人であることを隠すよう指示された」と回答した人のうち、同じ3項目にあてはまる人の合計が占める割合は（⑤）%と、仕事に関する差別の経験には、日本語の会話の程度は（1）と考えられる。なお、それぞれの項目のうち、「日本人と同程度に会話できる」が約4割を占める項目は（2）である。

一方、日本語の学習における困りごとについては、おおよそ4分の1の人が（3）を挙げている。最も回答した人の割合が少なかったのは、その他を除き、「母語で書かれた教材がない」であるが、その値の倍以上の割合があった項目は（⑥）つある。「自分のレベルに合った日本語教育が受けられない」、「日本語教育の内容が実用的でない」など、日本語教育の内容に関する困りごとを挙げた2つの項目の割合の合計は（⑦）%である。

- 【選択肢】
- ア 大いに関係がある
 - イ あまり関係がない
 - ウ 勤務時間や休暇日数などの労働条件が日本人より悪かった
 - エ 外国人であることを理由に、昇進できないという不利益を受けた
 - オ 上司から外国人であることを隠すよう指示された
 - カ 日本語教室・語学学校等の利用・受講料が高い
 - キ 学んだ日本語を活かせる機会がない
 - ク 日本語を学べる場所・サービスに関する情報が少ない

問3 グラフ4は、日本に住む在留外国人の日本語能力（読む）に関する調査結果、グラフ5は、日本に住む在留外国人が市町村や都道府県、国などの公的機関が発信する情報を入手する際の困りごとに関する調査結果である。グラフ4、5を参照し、以下の問いに答えなさい。

(1) グラフ4、5から読み取れる課題はなにか。

(2) グラフ4、5から読み取れる課題に対し、あなたが考える対策を、120字以上150字以内で記述しなさい。

2

問1 次の問に答えよ。

(1) $\frac{4}{3} \times \left(-\frac{9}{5}\right) + \frac{5}{2}$ を計算せよ。

(2) $6(a - 4b) - 5(2a - 3b)$ を計算せよ。

(3) $3a^2 - 21ab + 36b^2$ を因数分解せよ。

(4) $\frac{2}{\sqrt{5}} \div \sqrt{\frac{4}{3}}$ を計算せよ。

(5) $(2a + 3b)c = 2 (c \neq 0)$ を a について解け。

(6) 1次方程式 $1.6 + 0.6(3 - 2x) = 0.5x$ を解け。

(7) 連立方程式 $\begin{cases} 2x + 1 = -3(y - 2) \\ -5x - 1 = 2(1 - 4y) \end{cases}$ を解け。

(8) 2次方程式 $x^2 - 10x + 19 = 0$ を解け。

(9) 10点満点の数学の試験をしたところ、10人の生徒の結果はそれぞれ10点、8点、1点、0点、5点、4点、7点、2点、9点、5点であった。この試験結果の平均点を求めよ。

(10) 2個のサイコロを同時に投げるとき、2つの目の積が5の倍数となる確率を求めよ。

問2 次の問いに答えよ。

- (1) 箱に入っているカードを12人の子どもにそれぞれ同じ枚数を配ると、7枚ずつとなる。このカードを14人の子どもにそれぞれ同じ枚数を配ると、何枚ずつとなるか求めよ。
- (2) グラフが点(2, 5)を通り、傾きが4の直線であるとき、この1次関数の式を求めよ。
- (3) 1次関数 $y = 3x - 4$ のグラフと1次関数 $y = -x + 5$ のグラフの交点の座標を求めよ。
- (4) 関数 $y = ax^2$ のグラフが点(4, 64)を通るとき、 a の値を求めよ。
- (5) 関数 $y = 3x^2$ で、 x の変域が $2 \leq x \leq 5$ であるとき、 y の変域を求めよ。

問3 次の問いに答えよ。(ただし、円周率を π とする。)

- (1) 半径4cm、中心角 75° のおうぎ形の面積を求めよ。
- (2) 半径9cmの円の底面を持つ、高さ7cmの円錐がある。この円錐の体積を求めよ。
- (3) 右の図で、 $AB : BD = 1 : 1$ 、 $BC \parallel DE$ とする。 $\triangle ADE$ の面積は、 $\triangle ABC$ の面積の何倍となるか求めよ。
- (4) 正九角形の内角の和を求めよ。
- (5) 表面積が $128\pi \text{ cm}^2$ である球の半径を求めよ。

